

森卓朗市長が退任

薩摩川内市の礎を築く

森卓朗市長が、任期満了により11月6日で退任いたしました。

平成16年から薩摩川内市初代市長として一期四年間、新市の一体感醸成、行財政基盤の確立などに取り組み、薩摩川内市の礎を築きました。

ここに、市長の退任のあいさつと本市の歩みを紹介します。



私こと、去る11月6日、市長の職を任期満了により、退任いたしました。

顧みますと、平成8年3月川内市長に就任以来、3期8年7カ月旧川内市勢発展のために努力してまいりましたが、市町村合併により平成16年10月新市が誕生、11月7日に初代薩摩川内市長に就任させていただきました。

以来、今日までの1期4年間、市民の皆さまの暖かい御理解と御支援によりまして大過なく職責を全うすることができましたことに厚くお礼申し上げます。特に、合併時に策定した新市建設計画を踏まえ、「市民が創り市民が育む 交流躍動都市」を将来都市像とした第一次薩摩川内市総合計画の策定、その実現を目指して市民の先頭に立って市政に取り組んでまいったところであります。

合併後のまちづくりは、

これまで先人先達が築き上げてきた各地域の歴史や文化を尊重しながら、市民全体の協調・融和を第一義として、地区コミュニティ制度を導入し、地域の活性化と個性豊かなまちづくりを実践してまいりましたが、蘭牟田瀬戸架橋の事業化、構造改革特区の指定、蘭牟田池のラムサール条約湿地登録、本土・甌島間のネットワーク増速整備事業などあり、市民や関係団体の皆さま、市議会の温かい御理解と御支援に、心より感謝申し上げます。



これからの市政運営は、国・地方を通じた行財政改革、地方分権、地域格差の拡大、過疎対策、少子・高

齢化、高度情報化社会への対応など、変革の時代を迎え、これまでも増して市政運営は厳しくなるものと考えます。

今こそ市民の皆さまと市議会・行政が心を合わせて力を合せて、英知を結集していくならば、必ずや「輝く薩摩川内市」が築けるものと思っております。

結びに、薩摩川内市のなお一層の発展と市民の皆さまの御多幸を心から祈念いたしますとともに、多年にわたる御厚情に対し、重ねて深甚なる感謝の意を表し、退任のあいさつといたします。



薩摩川内市誕生後の主な歩み

(市長就任後)

- 平成16年 11月 財政健全化計画・中長期財政運営方針決定
- 平成17年 1月 市章・市民憲章を制定
- 1月 市政改革大綱・同改革アクションプランを決定
- 3月 薩摩川内市農業公社設立
- 4月 第一次薩摩川内市総合計画・基本構想議会議決
- 6月 定住促進制度開始(住宅取得補助・新幹線通勤定期購入補助)
- 7月 薩摩川内市安全・安心まちづくり条例施行
- 9月 東部消防署祁答院分署落成式
- 11月 「ファミリーサポートセンター」薩摩川内開設
- 1月 南九州西回り自動車道「川内隈之城道路」事業着手
- 2月 第一次薩摩川内市総合計画・基本計画決定
- 3月 蘭牟田瀬戸架橋の事業化が決定
- 4月 藤本地区コミュニティセンター竣工
- 4月 薩摩川内市地域包括支援センター開設
- 川内大綱引が県無形民俗文化財に指定
- 平成18年 1月 公共交通機関利用促進補助券スタート
- 7月 県北部豪雨災害発生
- 9月 県民体育大会川薩大会開催
- 10月 警察署の管轄(旧祁答院町区域が編入)と名称が変更(薩摩川内警察署)
- 11月 路線バス廃止に伴う4系統のコミュニティバス運行開始
- 12月 薩摩川内市定住支援センター「薩摩川内よかまち・きやんせ俱樂部」開設
- 平成19年 1月 安倍晋三内閣総理大臣と市町村長との頑張る地方応援懇談会
- 3月 南九州西回り自動車道「川内道路」開通式
- 4月 補助金等基本条例施行
- 4月 総務大臣とのくるまぎ対話in鹿児島
- 11月 地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰(薩摩川内市団体受賞)
- 平成20年 3月 東郷文弥節人形浄瑠璃が国の重要無形民俗文化財に指定
- 4月 南九州西回り自動車道「川内隈之城道路」着工
- 4月 株式会社まちづくり薩摩川内設立
- 9月 川永野地区が公共関係型産業廃棄物最終処分場整備地に決定



薩摩川内市誕生からのひとコマ

